

百合ヶ丘勸交会

会長 栗生 考賢

百合ヶ丘勸交会は上麻生2丁目(の大部分)と王禅寺西1丁目の一部から構成されています。

昭和42年から分譲が開始され、町会の歴史は昭和43年10月に有志が集まり創設した時に始まりました。

その後、分譲地以外の周辺住民も参加し、次第に家並も増え1000世帯ほどの規模になっています。

現在、会長、副会長2名、会計監査、それに総務、会計をはじめそれぞれの役割を担う役員で構成し、



百合ヶ丘勸交会館

長(半年任期)を対象とした班長会は年2回開催し、毎年4月には南百合ヶ丘小学校の体育館を借り、年間事業の報告、予算の審議など、全会員対象の総会を会員百数十名の参加のもと開催しています。

当町会がスタートして本格的な会館がなく、長い間大変不便な思いをしてきました。自前の会館を持つことは二十数年来の懸案でしたが、有難いことに平成14年に日本土地建物(株)から土地の提供を受けることができ、長年積み立ててきた資金と川崎市より借り入れをしてよう



秋の市内統一美化活動

やく平成17年に鉄筋コンクリート建ての会館が完成しました。

その後は各種会議、会合等に活用されています。

会館

あさおの町会・自治会

Vol. 19

金程富士見会

会長 松澤 元

金程富士見会は、「富士山に魅せられた住人たちが作り上げた町会」と、昨年50周年記念の時、地方誌で紹介して頂きました。

昭和36年(1961年)当時、金程の丘陵地(山林・畑)にミニ開発した土地を縄張り分譲で取得し、居住したのが第一号の住人です。

西の方に丹沢の山々がうねり、その中ほどに富士山がくっきりと見える素晴らしい景色に魅せられ居住はしましたが、道路は舗装されておらず、電気・ガス・水

道も整備されていなかったよつです。

現在、誰もが想像する分譲地と異なり、道路整備、東電交渉、ポンプでの簡易



に「手作りの町会」と記されています。

昭和62年(1987年)隣接地の土地区画整理により、一部が当町会に編入され、現在は面積12ha会員数421世帯の低層住宅地です。小田急線、新百合ヶ丘駅北口から徒歩で12分程度で麻生区町会連合会の中では、中規模の町会です。

町会運営は、全体を28ブロックに分け、各ブロックから毎年、幹事を選出し、会長・副会長を含み、毎月1回の「幹事会」を開き、課題の協議・行事の役割・情報交換等、

町会単独での行事は、「ふじみ祭り」ですが、近隣町会と合同で開催する「盆踊り大会」「どんど焼き」「防災訓練」は、リーダー的役割を担っています。また、小学生的交通安全パトロール、有志による防犯パトロール、8年計画で進めた防犯灯のLED化と、安全・安心街づくりに努めています。



「町会・学校合同避難訓練」

町会の舵取りを行っています。

では好成績を残し、麻生区の壮年ソフトボール大会では、金程富士見ソフトボールチームが2年連続優勝し、3連覇を狙っています。

当町会の強みは、非常に結束力・団結力・協調性に富み、いざ「鎌倉」の時は、

毎月第一日曜は公園街路樹愛護会としてメンバを募り、公園や街路樹の草取り、清掃を行っています。市内統一美化活動も初夏と秋の年2回、愛護会のメンバーと地区委員の協力での活動し、街がきれいになるとともに会員相互の交流も活発になりました。

高齢化社会の課題は当町会も他町会と同じ悩みを持つておりますが、会員にとつて安心、安全で住みよい街づくりを目指しています。

会員の皆が力を出しあうことです。当初、居住した会員は、年毎に少なくなりま



麻生区のデータ

市の新成人 (平成26年1月1日現在)		市の新成人 (平成25年11月30日現在)	
人口	173,720人	麻生区	川崎市
世帯数	74,099世帯	1,717人	12,938人
町会加入世帯	47,757世帯	平成5年4月2日～平成6年4月1日までに生まれた市民(市内住民登録者及び外国人登録者)	

麻生区町会連合会への新規加入のお知らせ

平成25年6月4日付で次の団体が当連合会に加入しました。

名称 クレアガーデン麻生台自治会

(麻生区上

麻生7丁目

会長 永沢 昭二

世帯数 119

※平成26年2月1日現在、当連合会は106の町会・自治会へ組織されています。